

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2024 年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 ウォーミングアップについて

(1) ウォーミングアップエリアは以下のとおりとする。

場所	時間	
主競技場 第2コーナーから第3コーナー	全日	入場～競技終了まで

(2) ウォーミングアップエリアへは、トラックを通らずスタンド下を通って行くこと。また、その際スタートやフィニッシュ地点では競技の妨げにならぬよう気をつけること。

(3) 競技区域内に入場できるのは、競技者のみとし、指導者・引率者等の立入は認めない。

(4) ウォーミングアップはすべて競技役員の指示に従い（競技運営上、一時的に制限することがある。）、指定された場所・時間の範囲内で事故防止に万全を期して行うこと。

※事故防止の観点から、ウォーミングアップエリアでの傘をさしての移動や音楽を聴きながらの運動は禁止とする。

(5) ウォーミングアップエリアを含む競技区域内では、カメラ・携帯電話・スマートフォンなどによる撮影は禁止とする。

(6) リレーのバトン練習は以下の通りとする。

バトン練習時間		場所
2 日目	1 0 : 4 5 ~ 1 2 : 3 0	第1曲走路からバックストレート（4～5レーン）
9/21	1 4 : 5 5 ~ 1 5 : 3 0	第1曲走路からバックストレート（4～5レーン）

(7) 練習用ハードルの設置については以下の通りとする。

競技種目	ハードル設置時間		場所
男女 400mH	3 日目 9/22	8 : 1 5 ~ 1 0 : 1 0	第1曲走路からバックストレート
男子 110mH	4 日目	8 : 1 5 ~ 9 : 2 0	ホームストレート
女子 100mH	9/23	1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 0 0	バックストレート側 棒高跳ピット

(8) フィールド競技の練習は競技役員の指示に従って、招集完了後に各々の競技場所で行うこと。

(9) 正面入り口前の中央広場でのウォーミングアップは禁止とする。

3 招集について

- (1) 競技者招集所は 100m スタート付近（競技場レイアウト参照）に設置する。
- (2) 代理人による点呼は認めない。但し種目を兼ねて出場する者で同時に 2 種目行われる場合は、その旨競技者係及び審判員に申し出て競技の進行に支障のないようにする。
- (3) 招集開始時間、招集完了時間は下記のとおりとする。

	招集開始	招集完了
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
男女走幅跳・男女三段跳	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
男女円盤投・男女ハンマー投	競技開始 50 分前	競技開始 40 分前
男女棒高跳	競技開始 60 分前	競技開始 50 分前
男女走高跳・男女砲丸投・男女やり投 予選	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
男女走高跳・男女砲丸投・男女やり投 決勝	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前

* ハンマー投競技は、9 月 15 日（日）大井競技場にて実施する。

- (4) 棒高跳は招集を現地で行い、競技開始 50 分前に打切りとする。
- (5) リレーに出場するチームは、各ラウンドの 1 組目の招集完了 60 分前までにオーダーを用紙に記入の上、招集所の競技者係主任に届け出ること（オーダー用紙はプログラムに掲載してある）。

4 アスリートビブスについて

- (1) 3000m 以上の個人種目（3000mSC を含む）では、オーダーナンバー（レーンナンバー）を記したアスリートビブスを、ラウンド（予選、決勝）に関わらず各自で準備すること。
- (2) サイドビブスは、リレー以外の全トラック種目、400m リレーの 4 走者、1600m リレーの 2～4 走者において両側の腰につけること（インサイドカメラ使用のため）。サイドビブスもラウンドに関わらず各自で準備すること。

5 番組編成について（レーン順・試技順）

- (1) トラック競技予選のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載順とする。
- (2) 400m までのトラック種目および 4×400m R における準決勝、決勝に時間により進出する最後の 1 枠に同成績がいる場合は、0.001 秒の実時間を考慮する。それでも同じ場合は、抽選を行う。
- (3) 抽選は同成績者または代理人によって行われる。アナウンス後 15 分を経過しても当該競技者あるいは代理人が来なかった場合は、主催者が代行する。
- (4) 800m 以上の種目で最後の 1 枠に同タイムが出た場合、0.001 秒の実時間を考慮する。それでも同じ場合は、同成績者は次のラウンドに進出できるものとする。この場合 800m は 1 つのレーンに複数割り当てる。

6 競技について

(1) トラック競技について

- ① Set の合図の後に正当な理由なく手をあげるなどの遅延行為等を行った時、イエローカードを示し、警告を与える場合がある【競技規則 TR16.5.1-3】。累積 2 枚のイエローカードを受けた競技者は当該競技を失格とするが、それ以後の種目の出場を妨げない。
- ② リレー種目では、同一のユニフォームを原則とする【競技規則 TR5.1】。ランニングパンツ、スパッツなどは、形が不揃いでもよいが、同一色にすること。
- ③ 男子 5000mW はスタートから 33 分、女子 5000mW はスタートから 38 分で次の周回には入れないものとする。

(2) フィールド競技について

- ① フィールド競技の予選通過記録は以下のとおりとする。

男子	走高跳 1m85	砲丸投 11m50	やり投 46m50
女子	走高跳 1m53	砲丸投 9m00	やり投 33m00

- ② 男女走幅跳、男女三段跳、男女棒高跳、男女円盤投、男女ハンマー投は予選を行わない。
- ③ 予選通過記録を突破した競技者が 12 名に満たなかった場合、予選の成績により決勝進出者を追加補充する【競技規則 TR25.15】。走高跳の場合、同記録になった高さで、試技数の最も少なかった競技者を、それでも決まらないときは、同記録を生じた高さまでの試技数のうち、無効試技数が最も少なかった競技者を決勝進出者とする。その他フィールド競技の場合、同記録となった競技者の 2 番目の記録で順位を決める。それでも決められないときは 3 番目の記録で決める。
- ④ 男女走幅跳、男女三段跳は A・B ピットに分かれて行い、競技終了まで割り当てられたピットは変更しない。
- ⑤ 三段跳の踏切版は、砂場から男子は 11m 地点、女子は 9m 地点に設置する。

7 競技用具について

競技用具は、棒高跳のポールを除いて競技場備付のものを使用する。持参した用具の使用を希望するものは検査を受け使用許可を受けなければならない。又許可された用具は他の競技者にも使用させねばならない。

8 走高跳・棒高跳について

- ①走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後になり優勝が決定するまでは次の通りとする。ただし、天候などの状況により変更することがある。

種 目	練 習	バーのあげ方
男子走高跳予選	1m65・1m75	1m70・1m75・1m80・1m85
〃 決勝	1m70・1m75	1m75・1m80・1m85 以後3cmずつ
〃 棒高跳決勝	2m20・2m60・3m20・ 4m00・4m30	2m40～3m60 20cmきざみ 3m60～4m60 10cmきざみ 以後5cmずつ
女子走高跳予選	1m35・1m50	1m40・1m45・1m50・1m53
〃 決勝	1m45・1m50	1m45・1m50・1m53 以後3cmずつ
〃 棒高跳決勝	1m80・2m40・2m80	2m00・2m20 以後10cmずつ

9 競技用シューズについて

- (1) 800m 未満のトラック種目は靴底の最大の厚さは 20 mm、800m 以上は最大 25 mmとする(※競歩競技の靴底の最大の厚さは道路競技と同じく 40mm 以内)。リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適応する。フィールド競技は三段跳を除いて最大 20 mm、三段跳は最大 25 mmとする【競技規則 TR5.2】。
- (2) 必要に応じて、競技役員が競技用靴を競技前、競技中または競技後に検査することがある。
- (3) その他詳細、WA 承認靴リストについては、日本陸連ホームページ「シューズ規則に関して」を参照すること。 <https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>

10 結果発表と抗議について

- (1) 各種目結果発表は、大型映像装置及びアナウンスで行う。掲示板による発表は行わない。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、同一日に次のラウンドが行われる場合は発表後 15 分以内、それ以外の場合は発表後 30 分以内に、競技者もしくは顧問が審判長に対して口頭で行い、審判長からの裁定を聞く。この裁定に納得がいけない場合は、預託金 (10, 000 円) を添えて、総務を通してジュリーに「上訴申立書」で申し出る。なお、この裁定は最終の決定となる【競技規則 TR8】。「上訴申立書」は総務に用意する。

11 助力について

- (1) ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD プレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することは、助力と見なされ許可しない【競技規則 TR6.3.2】。
- (2) 顧問・指導者らによる助言・指導は、競技場内スタンドに設けたコーチングエリアからのみ行うことができる。競技エリア(グラウンドレベル)での助言・指導は禁止とする。
- (3) スタンドから競技者に映像機器を手渡す場合は、指定された場所からのみ認める。

12 入賞について

- (1) 各種目 8 位までを表彰する。
- (2) 入賞者（チーム）の得点は、1 位 8 点・2 位 7 点・3 位 6 点・4 位 5 点・5 位 4 点・6 位 3 点・7 位 2 点・8 位 1 点とする。
- (3) 男女各 1 名ずつ優秀選手を表彰する。

13 応援について

- (1) 声を出しての応援は認めるが、スタート時の応援は慎むこと。
- (2) 集団応援はメインスタンドを除く、スタンド上部で行うこと。
- (3) ウォーミングアップエリアでの応援は絶対にしないこと。

14 関東高校選抜新人大会について

- (1) 本大会で 3 位まで（走高跳・棒高跳は 3 名）に入賞した者（チーム）は、令和 6 年度関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会（10/19（土）・10/20（日）栃木）の出場候補者となるので、正面スタンド 1 階強化委員会の部屋（貴賓室隣）に来ること。なお、欠員が生じたときは繰上げて出場できる場合がある。詳細は征矢強化委員長まで。
- (2) 9 月 26 日（木）午後 6 時 00 分～立教池袋高校にて関東高校選抜新人大会出場者の申込受付を行なうので、顧問は必要書類をととのえた上、必ず出席すること。（駐車場がないので車での来校は禁止）

15 その他

- (1) ゴミは、各自で必ず家に持ち帰ること。なお、競技終了後、各支部は指定された区域の清掃を行うこと。9月21日(土)第2・第3支部、22日(日)第5・第6支部、23日(月)第1・第4支部の学校、責任者は各支部長。
- (2) 競技場内通路（ダッグアウト）にシートを敷いたりして場所を占有してはならない。
- (3) 学校対校の表彰は閉会式にて実施する。
- (4) 9月22日（日）駒沢陸上競技場内にて、東京都高等学校駅伝競走大会の申込があります。必要書類を整えて支部ごとに指定された時間に申込を行うこと。
- (5) 本大会中、2024年国民スポーツ大会の壮行会を行う。
- (6) その他不明の点は大会総務まで照会下さい。